

みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2004/12/25 Vol. 46 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

印西市議会/平成 16 年第 4 回定例会報告 (2)

いつもお世話になっております。印西市議会第 4 回定例会 (12 月議会) は、12 月 17 日 (金) までの会期で行われ、平成 15 年度印西市一般会計歳入歳出決算認定等の決算認定を 5 件、条例の制定 (教育センターの設置及び管理に関する条例ほか) を 5 件、条例の改正 (市税条例の一部を改正) を 6 件、補正予算の審議が 4 件、請願、陳情案件を 3 件 他の審議を行い、閉会しました。今回は、12 月議会での議案審議について中心にご報告していきたいと思ひます。

議案審議とその結果 (1)

議案第 1 号 「草深ふれあい市民センターの設置および管理に関する条例」の制定について
(結果/可決・・・私も賛成しました。)

(条例制定の趣旨) 市における地域福祉の充実を図るためには、より市民の身近な地域において住民活動を主体とした、高齢者、児童及び障害者の福祉並びに市民の健康づくり等、地域福祉事業施策を展開する拠点が必要となっている。そこで、地域資源を活用して地域福祉活動の推進をはかるため、旧草深小学校を転用し公の施設として、この条例の制定を定めるもの。

(ぐんじとしのりより市民のみなさまへ)

当該施設は、(総称) そうふけふれあいの里として整備が予定されている「旧 草深小学校」の 1 階の大部分と 2 階全てを使用する施設です。この施設の開設にあたっては、私より以下の質問を行い、執行部より回答を得ました。

- 「(総称) そうふけふれあいの里としてとらえた場合、高齢者、児童および障害者という対象者は勿論のこと市民はこの場所まで行きづらいのではないかと。どうやって、この場所まで行くのか。ふれあいバスが 1 日 8 本しか通らない。アクセス方法を改善すべきである。」

(回答) 駐車場は 70 台用意する予定である。アクセス方法は検討していく。

- 「健康づくり実践ルームという部屋をつくっているが、例えば「ふれあいセンター 印旛」にあるようなアスレチック施設を導入するのか。」

(回答) 体力検診事業、健康づくり支援施設とした業務になると思う。(議員に配布された資料では「自らの健康は自ら作るという考えにもとづき、健康長寿社会の創造のため、壮年期の世代を中心に健康づくりへの関心の働きかけをします。体組成の診断により、

運動を中心とした生活改善への関心を働きかけをします。」といった記載がされています。)

議案第3号 「障害児放課後対策事業所の設置および管理に関する条例」の制定について

(結果/可決・・・私も賛成しました。)

(条例制定の趣旨)平成12年6月「社会福祉事業法等」の一部が改正され、障害児福祉サービスについて新たに支援費制度が施行されるなど、社会福祉の共通基盤制度について、福祉ニーズに対応するための事業の見なおしが行われているところである。本市においても、近年、障害児を抱える保護者からの要望の多い「学校放課後等の介護」について検討してきたところであり、今回、旧草深小学校の跡地施設を利用し、学校放課後の障害児を預かり、障害児が安全に過ごすための場の提供および障害児生活指導を行う事によって、家族の負担軽減を図ることを目的とする。

(ぐんじとしのりより市民のみなさまへ)

当該施設は、(総称)そうふけふれあいの里として整備が予定されている「旧 草深小学校」の1階に「クリオネクラブ」として設置されるものです。

「道路の開通について」

12月議会で「ニュータウン南環状線」の片側2車線の供用を交通量が増えてきた今、早めに行う必要もあるのではないかと私の一般質問に関して、片側供用は、予定では来年夏を予定していること。
の供用開始時には国道464号線も印旛日本医大まで片側2車線となるように作業を行っている旨回答をいただきました。最近の南環状線は土日を中心に牧の原地区～高花地区まで渋滞が起こりますが、今しばらくお待ちください。

国道464号線沿いに「印旛高校」移転が予定されています。

この紙面にて前号で皆様に進捗をご報告させていただいた用地(ジョイフル本田、印西消防署牧の原分署西側)に、「印旛高校」が移転する話が急浮上しております。12月17日(金曜日)の本会議終了後に市議会全員協議会が開催され、市長より突然発表されました。以下に市長からの報告を抜粋します。

堂本知事から高校移転について話がしたい旨連絡があり、12月15日(水曜日)に県庁を訪問。

知事より「高校用地として、ニュータウン地区で3箇所を想定し、現地調査を行ったところ、当該用地が一番いいのではないかと考えている。」と話が合ったことが報告されました。

市長としては突然の申し入れに当惑したが、「印西市の要望を聞き入れてくれるのであれば、前向きに検討したい」と伝えた。ついては、知事より「来年早々に結論を出したいので、早急に検討してください」との申し入れがあったので、市長としては議員各位に現状を知っていただくために集まってもらったが、正式には県からの文書を早急にもらい、「改めて相談したい。」と併せて説明がありました。

この件に関し、多くの議員よりあまりにも突然であるとの批判が続出しましたが、市長からは「ここで決定しないと、印旛高校のニュータウン移転は難しいだけでなく、存続すら危ぶまれるので、各位のご理解をお願いしたい」との繰り返しの答弁がありました。会議終了後、市長とこの件に関して二人で話をしましたが、「建設に3年かかり、印旛高校を移転し再生させたい。(県の計画では移転時には「総合高校」として建設されることを想定)」という願いがあったことを皆様にお伝えします。

「印旛高校のニュータウン地区への移転。」みなさまはどのように思われますか?

「市政報告会」を実施します。

1月16日(日曜日)午後2時～ 会派「市民自治ネットワーク」(ぐんじとしのり、ますだようこ)では市政報告会をニュータウン中央駅前センターで予定しております。お時間がある方はお越しください。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

ぐんじとしのり